

## 平成 27 年度「市民による事業評価・提案会」評価・提案内容

### 評価・提案テーマ 住まい・移住

| 出された質問等  | 評価・課題  | 意見・提案等   |
|--|--|--|
| <p>○井倉団地新婚子育て世帯入居支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井倉団地の子育て支援策について、事業に大変意義があると思う。若い方の定住を進める手がかりになるものだと思う。しかし、団地を退去した後の市内定住率等の追跡調査はしているか。</li> </ul> <p>⇒そこまではしていない。今後必要があると考えられるため、退去時の資料などによって把握していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井倉団地の入居については、継続して住み続けることができるのか。年齢制限等はあるのか。</li> </ul> <p>⇒住み続けることは可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井倉団地の入居について、核家族が対象だとは思いますが、独身者等の入居については今後どうしていくのか。様々な家族の形が今後増加すると思うが、受け入れは検討していくのか。</li> </ul> <p>⇒平成 19 年に制度開始した際には、子育て支援に主眼を置いて始めた。幅広い支援ができればよいが、現在の制度内では、単身者等は対象とならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後増加する家族形態の多様性についてはどう考えるか。</li> </ul> <p>⇒井倉団地と違う一般の公営住宅において、過去に単身世帯の入居について検討したことがある。しかし、入居可能にしてしまうと、戸数は限られており、本来の対象者である世帯が入りづらくなることもあり、取りやめた経緯がある。どちらにせよ、どこかで線引きをしなければならぬため、こうした制度になっている。しかし、高齢者の単身世帯は入居可能など、一部例外もある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・井倉団地の支援について、継続して住むことができると聞いたが、若い世帯が入れなくなるのではないか。</li> </ul> <p>⇒井倉団地は、平成 7 年に管理開始したのだが、その際には子育て支援策はなかった。平成 9 年に制度を作ったのだが、団地自体は、一般の方も入居できるものである。子育て世帯は現在 44 世帯</p> | <p>○子育て世帯定住促進奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このような奨励金が転入の後押しになるとは思えない。</li> <li>・移住者のみを対象に定住促進というのはおかしい。</li> <li>・持家に限定するのはおかしい、条件が厳しすぎる。</li> </ul> <p>○空き家バンク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP の掲載内容に統一感がない。</li> <li>・空き家バンク自体、行政にそぐわない内容ではないか。</li> </ul> | <p>○井倉団地新婚子育て世帯入居支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「出産」「定住」に寄与しているか、追跡調査を行う。また単身世帯であっても定住は支援されるべきではないか。効果が判明したら、他の市営住宅や、その他にも広げていける。</li> </ul> <p>○子育て世帯定住促進奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯に限らず、若い独身層への施策も何かあるといい。例えば文大生で卒業後都留に残ろうとする学生へのサポートなど。</li> <li>・どうして転入してくるのか、どんな人が転入してくるのか、どうして転出しないのか…など実態把握が重要で見てくるものがある。</li> <li>・市内の建築業者を紹介する冊子やサイトなどもあるといい。</li> </ul> <p>○空き家バンク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクについて、申込み者が 18 件中、成立が 1 件という数字は、少ないような気がする。なぜだと思えるか。</li> </ul> <p>⇒登録したい方がいれば、不動産業者と市と現地確認をしながら進めている。ホームページに写真を載せているが、実物をみてイメージと違ったということで、マッチングできないこともあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクの登録について、家を持っている方が市に登録するという制度自体、敷居が高いような気がする。自分自身移住者なので、よく空き家バンクのホ</li> </ul> |

| 出された質問等  | 評価・課題 | 意見・提案等   |
|--|-------|--|
| <p>となっている。管理戸数は84ある。子育ての要件から外れれば、元の家賃となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して住む方が増えると、子育て世帯が入居できる戸数は減るといふことか。</li> </ul> <p>⇒子育て終了が退去の要件ではない。現在はバランスよく入居・退去が進んでいる。大半は、5年ほどで入れ替わっている。今後、バランスが崩れた場合には制度の見直しは必要となると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の方が一時的に居住し、一戸建てを立てて退去するという方が多いのではないかと思う。</li> </ul> <p>⇒市外からも多くの方が入居している。環境なども良い住宅なので、近隣自治体からも入居している。</p> <p><b>○子育て世帯定住促進奨励金</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世帯定住促進策だが、対象者を転入一年以内に制限しているのはなぜか</li> </ul> <p>⇒この制度は平成23年から始めたが、今までに一年を経過して対象とならない方は何人もいた。これは、新築の建設期間等を考慮して設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この制度を活用して都留市に転入を進めているのだと思うが、この制度があるから転入をしようという世帯を増加させたいということなのか。</li> </ul> <p>⇒例えば、近隣の市町村等を比較する中で移住先を迷っている方などへ、最後の最後押しとなるような支援だと考えている。</p> <p><b>○空き家バンク</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクのホームページを見たが、住所等の記載や、面積記載が違っていた。確認はしているのか。</li> </ul> <p>⇒登録者から直接いただいた情報を載せている。また確認をし、訂正をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年、学生の事業評価で、空き家の改修補助をしらたらどうかという意見があったが、それについてはどうなっているか。</li> </ul> |       | <p>ホームページを見たが、更新されていなかったり、申し込んでも返答がなかったりした。空き家を持ち、登録してない方には、掃除を支援するとか、足を運んで登録を勧めるなどは考えていないのか</p> <p>⇒空き家所有者に対して、今後の利活用意向調査はすると思うので、そこで物件数を増やしたい。調査をする中で増やしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家がたくさんあることが問題だと思うので、積極的に市が関与できないのであれば、市民団体を活用するなどして進めていけばいいのではないかと思う。</li> </ul> <p>予算的にも空き家バンク事業に5万円では少ないように感じる。ホームページでも常時更新や写真掲載など、どんどん改善していただければ嬉しい。</p> <p>⇒清掃の補助など、他市でも行っている経緯があるので検討してみたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクについて不動産業者が介入するのは、立ち会いのみで、そのほかに積極的な協力を得ているのかということと、清掃補助や登録あっせんなどを市がおこなうのはそぐわないと思うので、外部委託等で進めていくのがいいのではないかと思う。いずれ空き家は地域の負の遺産となると思う。民間に任せ、早めに手を打つべき。</li> </ul> <p>⇒不動産業者については、間に入って頂き、あっせんなどに関しては積極的に介入してもらっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売値が高いような気がする。不動産業者が入っているのであれば、評価をきちんとしてもらうべきでは</li> </ul> <p>⇒ホームページは、売り側の言い値である。安く、という考え方はわかるが、まずは売りたい方の意向を尊重してという形としている。</p> <p>⇒現在空き家の実態調査をしており、市内で741件あるという情報を現段階で把握している。これから職員</p> |

| 出された質問等   | 評価・課題 | 意見・提案等  |
|---|-------|---|
| <p>⇒現状で要綱を作成しており、対応できるよう勧めている。</p> <p><b>○全体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての制度について、条件が分かりづらいと思う。それだけであきらめている方もいるかもしれない。制度を理解したとしても、いろいろな地方でいろいろな取組を行っている中で、都留市は制度的に控えめな印象がある。この条件で移住はなかなか考えづらい。井倉住宅の制度についても、シングルの親が増えている中、対応をしていく必要があるのではないかと思う。</li> <li>⇒子育て世帯定住支援では、すでに子どもがいる世帯に転入してもらいたいという目的。しかし、現状制度では例えば妊娠中の方は対象とならない。今後はこのあたりの制度の拡充などを考えていきたい。今年ちょうど制度見直しの年なので、空き家活用等も含め、考えていきたい。</li> <li>・空き家バンク制度だけでなく、空き家対策を進めていくにあたっては、いろんな部署が関わっているときいた。データ業務や改修、また、空き家バンクなどは、ぜひ横断的に取り組みを進められれば良いのではないかと思う。</li> <li>⇒現状、地域環境課で空き家の実態調査を行っている。今後、各課横断的にこれらの活用のための基本計画を策定していく。産業課としては、空き家のマッチングを進めている。わかりづらい部分もあるかと思うが、現状はそれぞれの部署でパートごとにこうした取り組みを進めている。</li> <li>⇒井倉団地の支援だが、この団地は特定公共賃貸住宅というくりであり、中堅所得者向けの住宅となっている。入居可能所得の基準は、158,000円以上となっている。子育て世帯については、この基準を引き下げるという支援を行っている。所得基準については、総務省の家計調査で214,000円が平均となっているので、これらを参考にし、基準を決定している。</li> <li>・全体に対してだが、移住に焦点を当てていると思うが、出ていく方を引き留めるのも大事な論点となると思うのだが、今は移住</li> </ul> |       | <p>が回って使える、使えないなどの判断を行う。調査の結果の状況を見ながら、計画を策定していく過程の中で、今後検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクについて、富士吉田市の事例で、若い人たちに一時的に住んでもらい、町のことを知ってもらい、移住定住につなげていくという取組をやっていると聞いた。こういった取組を進めていけばどうか。</li> <li>・なぜ転入してきたのか、なぜ転出するのか、なかなか聞けないと思うが、把握する方法があればいいと思う。全員に調査することはできなくても、そういった理由を把握していくことがいいのではないか。</li> <li>・現在実施している空き家情報の把握と同時に、空き家をどうするのか、改修されたものはどのように活用していくのか考えていくことが必要。</li> <li>・「お試し居住」や「都留を知る」体験コースを設定するのはどうか。ひっそり暮らしたい人、地域の様子を知りたい人などニーズは様々なので数タイプ用意があればいい。</li> <li>・ホームステイのような民泊も活用できると思う。都留の生活を体験できるものとして、協力家庭を募集しリスト化するのはいかがでしょうか。NPO法人の体験プログラムなども充実しているので、都留の様子が良く分かり移住に繋げることができると思うので民間との連携も考えられる。</li> <li>・全国で最も注目されている課題なので、現状はお粗末。空き家には、担当部署を超えた横断的な取り組みが急務である。</li> <li>・HPサイト運営を、管理委託してみてもどうか。</li> <li>・空き家バンクは定住促進の観点からも、負の資産にしないという観点からも重要施策である。ぜひ民の力を活用して推進してほしい。</li> </ul> |

| 出された質問等   | 評価・課題 | 意見・提案等   |
|---|-------|--|
| <p>者に焦点が当たりすぎている感がある。考え方を改めて制度設計をする必要があるように思う。</p> <p>⇒今住んでいる方を転出しないようにしていく策については、ここに住み、市外へ通勤してもらうような補助も整備している。転出者を抑制する制度も用意しているが、今後も継続的に考えていきたい。</p> |       | <p>・町中の空き家を部活動などで使えるようになれば、学生と町の繋がりもできる。</p> <p>○全体</p> <p>・現状では子育て支援などが手厚く、子どもがいる世帯を優遇しているように思える。私の場合子育ては終了しているが、「田舎ができた」と子どもも甥っ子も、喜んで遊びに来る。もうちょっとシニア世代を優遇するような制度も考えてほしい。</p> <p>⇒今年子育て世帯定住支援については見直しとなる。昨年もこの制度については学生から多くの意見が出た。もう少し実効性のある施策を考えたい。拡充や使いやすい制度とすることは十分可能ではあると思う。</p> <p>⇒空き家バンクについては、利用対象者が市外の方となっており、移住者が対象となるが、現状空家の実態調査を行い、活用方法を検討していく。空家所有者に対しての補助なども考えられると思う。</p> <p>⇒井倉団地については、84戸という枠の中で支援を行うこととなる。子育てが終わった世帯についても、住み続けることができる住宅となっているが、今現在はバランスが取れているため、制度の見直しは今は考えていない。状況を見ながら今後検討したい。</p> <p>⇒快適遠距離通勤という補助を行っているが、その事業の中でアンケートを取っている。今回評価者のみなさんは移住者ということなので、皆さんの考える都留市の良さを教えていただきたい。</p> <p>・(山口先生)最後にまとめて話をしてもらうようにしたい。</p> <p>・転入してくる人がまず接する窓口である市職員が、行政の情報のみならず、きめ細かな情報、都留での生活ができそうだと思う情報を持って、人間らしい対</p> |

| 出された質問等 | 評価・課題 | 意見・提案等  |
|---------|-------|---|
|         |       | <p>応をすることが肝要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者も大切だが、もともと住んでいた人にまずいい市であると思ってもらうことの方が優先だと思う。</li> <li>・家族の在り方が多様化しているなか、全体的に対象者の拡大を考えるべき。</li> <li>・子育てが終わってしまった世帯は高齢化を促進することになってしまうが、孫が遊びに来るための環境整備も必要。そこから子ども世代が都留はいいところだと思えば、居住も増えるのではないか。</li> <li>・HPなどの情報発信面で空き家情報をトップに掲載するなど、せっかく都留に移住してみようかと思ってくれる人を離さないような親切さや情報発信が重要。</li> <li>・市役所が取り組めないことを市民全体、NPOなどと協力して、官民ともに力を合せていくことが大切。お試し居住の場所確保やホームステイ型の宿泊を市民の一般家庭に協力してもらうなどして、ローカルで現実味のある体験の提供につながる。</li> </ul> |